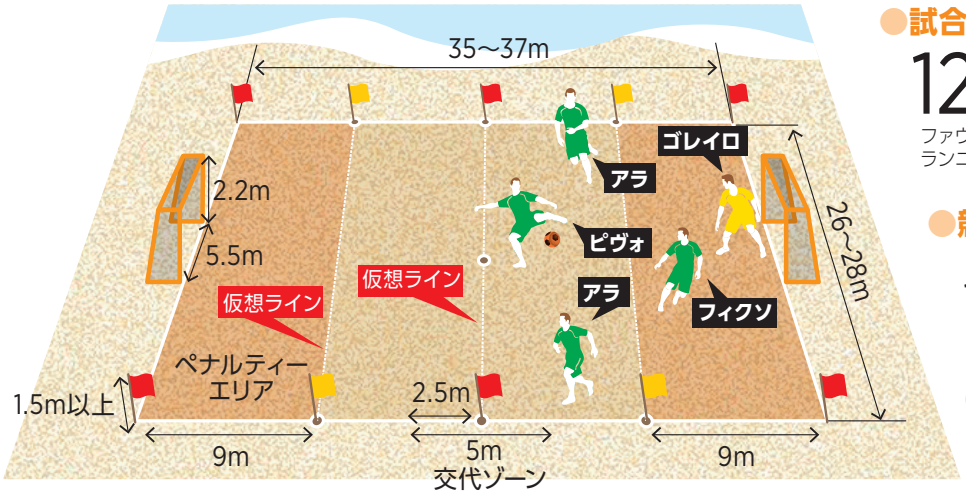
ビーチサッカーのルールを知ろう

(公財) 日本サッカー協会ビーチサッカー競技規則より

ビーチサッカーは1チーム5名で試合が行われる。試合時間は12分間の3ピリオドで選手交代は自由。砂で地形が不規則のため、多くのプレーがボールを浮かせる足技からはじまり、アクロバティックで華やかなプレーが特徴のひとつだ。ルールを知ってビーチサッカーをもっと楽しもう！



●試合時間

12分間×3ピリオド

ファウルの場面など審判員が時計を止めない限り、ランニングタイムで行われる。

●競技者

1チーム5人

●ポジション

サッカーで言うと、GKは**ゴレイロ**、DFは**フィクソ**、MFは**アラ**、FWは**ピヴォ**

特有のルール

- サッカー5号球と同じ大きさで少し柔らかい専用ボールを使用
- シューズの着用は認められない
- スネあてのような硬いプロテクターを身に着けることはできない
- オフサイドはなし
- タッチラインから出た場合、再開方法はキックインまたはスローインから選択できる
- 退場者が出た場合、ペナルティーとして2分間選手の補充ができない。人数の多いチームが2分以内に得点した場合、その時点で選手の補充が認められる

●フリーキック

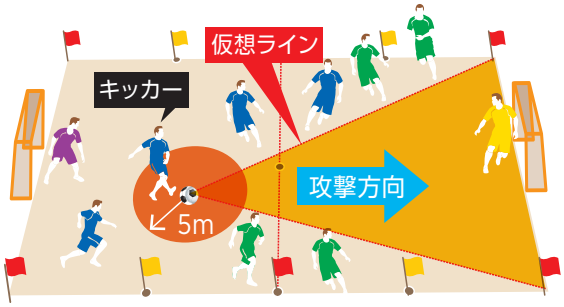
全てのファウルは直接フリーキックとなり、壁をつくることができないため、大きなチャンスとなる。キッカーは足やボールを使って砂で小さな山をつくり、その上にボールを設置することで強烈なシュートを放つことができる。原則としてファウルを受けた選手がキックする。

相手ハーフからのフリーキック

キッカー以外の選手はボールから5m以上離れる。相手ゴールキーパー以外の選手はフリーキック位置を基準とする仮想ラインより前に出ることはできない。

自チームのハーフからのフリーキック

相手選手はボールから5m以上離れる。相手ゴールキーパー以外の選手はボールと各コーナーの間の仮想エリアの中に入ることはできない。



ここが見どころ!

●オーバーヘッドキック

ビーチサッカーの魅力の一つであるオーバーヘッドキック。攻撃側の選手のコントロール下にボールがあるときに接触すると守備側のファウルとなる。

●ゴールキーパーの攻撃参加

ゴールキーパーは“第5のフィールドプレーヤー”といわれるほど重要なポジション。自チームのハーフ内で4秒以上ボールをコントロールすることはできないため、ペナルティーエリアの外に運び、ときには強烈なシュートでゴールネットを揺らす。

公益財団法人 日本サッカー協会

JFA DREAM 夢があるから強くなる

2025年7月
WEB版